



わたし くらす 知多半島南部のまち、南知多町・美浜町・武豊町には、約 83,000 人の人たちが生活しています。パツと顔が思い浮かぶ人は、何人ぐらいいるかな？ 意外に多いかもしれませんね。

あなたの家族、あなたの友達、友達の家族、近所のおじさんにおばさん。赤ちゃんから高齢の人まで、私たちのまちにも多くの方がいますよね。

でも、全く同じ顔・同じ体格・同じ能力・同じ考え方・同じ好みの人って一人もいないんじゃないかな。

そう！ あなたと同じ人は、この広い世界のどこにもいないのです。

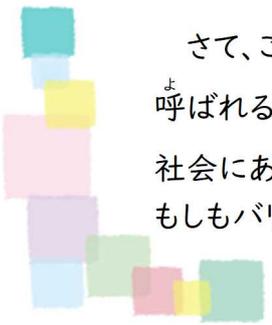


そして、できること・できないことも、みんな一人ひとり違いますよね。
 男子だから、野球やサッカーが得意だったり、好きとは限らない。
 苦手な人、嫌いな人もいる。
 女の子だから、料理ができると決めつけられるのも、何か変だよな。
 「〇年生だから〇〇ができて当たり前」と言われると苦しいこともあるよね。

それなのに、「他の大勢のみんなができることをやらない・できないあなたが悪い！」と言われ、うまくできなかつたらクラスや学校、社会からはじきだされてしまう。それは悲しいことですよね。

誰だって、かけがえのない一人の人として幸せに生きていきたい。そして自分だけが幸せになるのではなく、家族だったり、友達だったり、自分以外の誰かの力になりたい、一緒に笑いたい、誰かを幸せにしたい。できないことばかりじゃなくて、できることもある。認められたい。仲間に入りたい。

それは人として、ごく当たり前の願いですね。これらの願いをみんながかなえられる社会がいいな、みんなで支え合うことが当たり前の社会にしようね、というところから「ノーマライゼーション」という考え方が生まれました。みんな、命と価値は平等なのです。



さて、この社会には、「障害がある人」がいます。実は、どんな人が「障害がある人」と呼ばれるかは、国によっても時代によっても違うのです。そして、本人の心身の状態と、社会にあるバリアの状況によって、「障害がある人たち」の生きやすさが変わります。もしもバリアが多いと社会からはじき出され、少ないと一緒に暮らすことができます。

では、何がどのようにバリアになるのかな。そのバリアを取りのぞく(バリアフリー)

ほうほう
方法は何があるのかな。どんな社会だったらみんなが生きやすいのかな。

そこで、この「ハンドブック」では、同じ知多南部3町で暮らす障害がある人や高齢の人、一人ひとりの生活や暮らしについて、まとめてみました。「ノーマライゼーション」のこと、「バリアフリー」のこと、ぜひ、一緒に学び、考えてみましょう。

このハンドブック作成さくせいに関わった人たちは、「自分だけが生きやすい社会」を望んでいるわけではありません。「みんなが生きやすい社会」にしたいと思っています。

誰もはじき出されない社会は、あなたもはじかれません。あなたが大切だと思っている人も。そんな社会につながるといいな…と願ってこれを作成しました。

あなたも、あなたの周りまわの人も、誰もが、幸せになるために生まれてきました。

もちろん、幸せの形は一人ひとり違いますよね。でも、「自分が幸せだと思う人生の主人公として生きていきたい」、これは、家族も、友達も、近所の人、学校の先生も、子どもも、高齢の人、誰もがもっている願いです。そこで、このハンドブックのタイトル、「ふ・く・し」の出番です!



ふだんの 暮らしの しあわせ



自分や、周りのひとたちが、住み慣れたまちで、当たり前の幸せな生活をおくるためには、「ふくし」が必要です。

「ふくし」は、高齢者こうれいしゃや子どもや障害がある人等、一部の人たちだけのものではありません。このまちで暮らす人たちみんなの「幸せ」を願い、どうしたらよいのかな…と力を合わせて考え、形にしていくことが「ふ・く・し」なんです。そして、あなたも「ふ・く・し」の大切な主人公です。



そこで、まずはあなた自身の「幸せ」を考えてみませんか。
自分の長所は何ですか?自分でほめてね!
好きな場所はどこですか?
何をしているときに幸せですか?
いつかかなえたい夢は何ですか?

あなたが幸せに生きるために、何が必要なのかな?どうすればいいのかな?

その願いや、願いを阻むバリアはばは、他の人たちと同じという場合があるかも。自分の幸せを考えることが、みんなの幸せにもつながるならうれしいよね。大切な人たちと支え合って「ふ・く・し」のあるまちにしていきましょう!